

19番の歌 主の晩餐

1年で一番大切な日に向けて準備する

「このことを行っていき、私のことを思い起こしなさい」。ルカ 22:19

ポイント：①記念式が特別なのはどうしてか、②どんな準備ができるか、③ほかの人のためにもどんなサポートができるかを考えましょう。

1. 記念式が1年で一番大切なのはどうしてですか。（ルカ 22:19, 20）

エホバに仕える人たちは、キリストの死の記念式を1年で一番大切にしています。それはイエスが行うようにと弟子たちに命じた、たった一つの行事だからです。（ルカ 22:19, 20 また、イエスはパンを取り、感謝の祈りをしてから、それを割って渡し、こう言った。「これは、あなたたちのために与えられる私の体を表しています。このことを行っていき、私のことを思い起こし(*記念し)なさい」。20 また、食事が済んでから、杯についても同じようにして、こう言った。「この杯は私の血による新しい契約を表しています。それはあなたたちのために注ぎ出されることになっていますを読む。）私たちが記念式を楽しみにしている理由はたくさんあります。その幾つかを考えてみましょう。

2. 私たちが記念式を楽しみにしているはどうしてですか。

2 記念式に出席するなら、「①贖いの価値を思い返すことができます。②イエスの犠牲に対してどうすれば感謝を示すことができるかを学ぶこともできます。（ヨリニ 5:14, 15 キリストの愛が私たちを駆り立てるのです。私たちは次のように考えているからです。1人の人が全ての人のために死にました。ということは、全ての人は死んでいたのです。15 その方が全ての人のために死んだですから、生きている人たちはもはや自分のために生きるのではなく、自分のために死んで生き返らされた方のために生きるべきです）また、③記念式は兄弟姉妹と「励まし合う」機会となります。（ロマ 1:12 いえ、むしろ、皆さんの信仰と私の信仰によって励まし合うためです）④毎年、しばらく集会を休んでいた兄弟姉妹も大勢出席します。その中には、温かい歓迎に心を動かされてエホバのもとに帰ることにした人もいます。⑤ほかにも、記念式で見たり聞いたりしたことがきっかけになって聖書を学び始める人もたくさんいます。」こうしたことを考えると、私たちは記念式が本当に楽しみになります。

3. 記念式が世界中の兄弟姉妹との絆を強める機会になる、といえるのはどうしてですか。（写真も参照。）

3 記念式は、世界中の兄弟姉妹との絆を強める機会にもなります。どうしてそういえますか。記念式の日、世界各地のエホバの証人は、日が沈んだ所から順番に式を行っていきます。そして、贖いの大切さに関する話をみんなで聞きます。賛美の歌を2曲歌い、パンとぶどう酒を回します。祈りが4回捧げられ、そのたびに心から「アーメン」と言います。24時間のうちに、全ての会衆が同じ方法で記念式を行います。エホバとイエスは、私たちが世界中で賛美を捧げる様子を見て、とても喜んでいるに違いありません。



記念式は世界中の兄弟姉妹との絆を強める機会になる。（3節を参照。）

*写真や挿絵: エホバに仕える人たちが記念式を行っている。別の場所では式のために準備をしている。

4. この記事ではどんなことを考えますか。

4 この記事では、以下の点について考えます。記念式に向けて、「①どのように心を整えることができますか。②ほかの人のためにどんなことができますか。③集会にしばらく来ていない兄弟姉妹をどのようにサポートできますか。」この3つの答えを知るなら、記念式という特別な日に向けて準備ができます。

記念式に向けて心を整えるには

5. (ア) 貰いの価値についてじっくり考えることはどうして重要ですか。（詩編49:7, 8）（イ）「[イエスは何のために死にましたか](#)」の動画から、どんなことを学べましたか。

5 記念式に向けて心を整えるために、イエス・キリストの犠牲の価値についてじっくり考えることは重要です。私たちは、自分の力では罪や死から自由になれません。（詩編49:7, 8誰一人として兄弟を買い戻すことはできない。彼のための貰い(*)を神に差し出すことはできない。8（人の命を買い戻す(*命のための貰いの)代価は非常に高く、とても支払えない。）を読む。「[イエスは何のために死にましたか](#)」の動画も参照。／アダムが神に背いて罪を犯したために、負債を抱えた従業員のように子孫全ては罪を受け継いで死ぬことになった。しかし人間は自分たちの力では罪と死から自由になれる負債を支払えなかった。）*それで、エホバは私たちのためにイエスを貰いとして与えて(負債を支払って)くださいました。これは、エホバにとってもイエスにとっても大きな犠牲でした。（ロマ6:23罪の代償は死ですが、神が与える贈り物は、私たちの主であるキリスト・イエスによる永遠の命なのです）このことについて考えれば考えるほど、貰いへの感謝が深まります。エホバとイエスがどんな犠牲を払ったか、幾つか考えてみましょう。まずは、貰いがどんなものかを考えます。

6. 貰いとはどんなものですか。

6 貰いとは、何かを取り戻すために支払われる代価のことです。最初の人間アダムは、完全な人として創造されました。でも罪を犯したために、自分でなく、子孫全ても永遠に生きる見込みを失いました。イエスはアダムが失ったものを取り戻すために、完全な人間としての命を犠牲として捧げました。地球で生きていた間、「罪を犯さず、欺きを語ったこともありませんでした」。（ペテー 2:22 キリストは罪を犯さず、欺きを語ったこともませんでした）それで、イエスの犠牲はアダムが失ったものをぴったり埋め合わせることができるものでした。（コリー 15:45 「最初の人アダムは生きた人(ギ語プシュケー)になった」と書かれています。最後のアダムは、命を与える、目に見えない存在(*肉体でない体を持つ存在/ギ語プネウマ)になりました。テモー 2:6 全ての人のための対応する贖い(*)として自分を与えました。このことについては、定められた時に語られることになっています）（エホバがイエスを仲介者とした油注がれた者たちと結ばれた新しい契約も、イエスが流された血無しには有効にならなかった。つまり贖いの犠牲は新しい契約の基盤でもあった。また神聖な血の使用を制限するなどのエホバの奥深い知恵とも関係⇒感謝を深めるべき）

7. イエスは地球にいる間にどんな試練を経験しましたか。

7 イエスは地球にいる間にたくさんの試練を経験しましたが、どんな時もエホバに従順でした。自分は完全でしたが、完全ではない両親に進んで従いました。（ルカ 2:51 それからイエスは両親と共に下ってナザレに戻り、その後も両親に従っていた。また、母親はこうしたこと全てを注意深く心に留めた）10代の頃、親やエホバに従わなくてもよい、という周りの人からの圧力に抵抗する必要もあったでしょう。大人になってからは、悪魔サタンからのさまざまな誘惑に立ち向かう必要もありました。（マタ 4:1-11 それからイエスは、聖なる力に導かれて荒野に行き、悪魔から誘惑を受けた。240日間ずっと(d*40日40夜)断食した後、空腹を感じた。3誘惑者がイエスに近づき、言った。「神の子なら、これらの石に、パンになるように命じなさい」）。4イエスは答えた。「『人は、パンだけではなく、エホバの口から出る全ての言葉によって生きなければならない』と書いてあります」。5次いで、悪魔はイエスを聖なる都に連れていき、神殿の最も高い所に立たせて、6言った。「神の子なら、飛び降りなさい。『神はあなたのために天使たちに命令を出す』、『天使たちはあなたを手に乗せて運び、あなたが石に足をぶつけないようにする』と書いてありますから」。7イエスは言った。「『エホバ神を試してはならない』とも書いてあります」。8さらに、悪魔はイエスをとりわけ高い山に連れていいき、世界の全ての王国とその栄光を見せて、9言った。「ひれ伏して私を崇拜するなら、これら全てをあげましょう」。10その時、イエスは言った。「離れ去れ、サタン！『あなたが崇拜すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです」。11その時、悪魔はイエスから離れた。すると、天使たちが来てイエスに仕え始めた）サタンはイエスに罪を犯させ、神に仕えるのをやめさせようとしていました。そのようにして、イエスが完全な人間として贖いの犠牲を捧げるのを阻止しようとしていたのです。

8. イエスはほかにもどんな試練に耐えましたか。

8 イエスは伝道を始めた後もさまざまな試練を経験しました。迫害に遭い、命を狙われることさえありました。（ルカ 4:28, 29 会堂でこの話を聞いていた人は皆、怒りでいっぱいになった。29そして、立ち上がってイエスを町の外へ追い立て、町が立っている山(*丘)の崖に連れていった。突き落とそうとしたのである；13:31 ちょうどその時、パリサイ派のある人たちが来てイエスに告げた。「ここから立ち去りなさい。ヘロデがあなたを殺そうとしています」）弟子たちがたびたび失敗することも忍耐しなければなりませんでした。（マル 9:33, 34 一行はカペルナウムに入った。家の中にいた時、イエスは弟子たちに、「途中で何を言い合っていたのですか」と質問した。34弟子たちは黙っていた。途中で、誰が一番偉いかと言い合っていたからである）裁判にかけられた時には虐待され、ばかにされました。その後、大きな痛みを伴う屈辱的な仕方で

処刑されました。 (ヘブ 12:1-3 それで、これほど大勢の(*大きな雲のような)証人たちに囲まれているのですから、私たちもあらゆる重荷と、すぐに絡み付く罪を捨て、参加している競走を忍耐して走りましょう。 2 私たちの信仰を導き、完全にしてくださる方であるイエスを一心に見つめながら走るのです。イエスは、前途にある喜びのために、恥を物ともせず苦しみの杭(*)に耐え、神の座の右に座りました。 3 罪人たちは自分に害を招く敵対的な言葉を語り、イエスはそれを忍耐しました。そのイエスのことをよく考えてください。そうすれば、疲れて諦めてしまうことはないでしょう) 最終的には、それをエホバからの保護がない状態で耐える必要がありました。*「ものの塔」2021年4月号の「読者からの質問」(イエスが死の直前に詩22:1のダビデの言葉を引用した理由:①自分の死にエホバが介入しないことを強調、②詩編22編全体に人々の注意を向けるために、その一部を引用したのも、③自分が無実であることを伝えようとしていたのかも、④ダビデも苦しみに遭ってもエホバに退けられたわけではないことに注意を向けたかったのかも、⑤エホバはイエスが忠誠を十分示せるようにイエスを守るのをやめる必要があったが、イエスはそのことに対する深い悲しみを言い表したのかも、⑥エホバがイエスが杭に掛けられて死ぬのを許した理由について考えるよう弟子たちを助けようとしたのかも。)を参照。 (マタ 27:46 午後3時ごろ、イエスは大声で叫び、「エリ、エリ、ラマサバクタニ」、つまり、「私の神、私の神、なぜ私を見捨てたのですか」と言った)

9. イエスの犠牲について考えると、どんな気持ちになりますか。 (ペテロ第一 1:8)

9 このように、イエスは私たちのために大きな犠牲を払って自分の命を贖いとして差し出してくださいました。そのことを考えると、イエスへの愛が深まるのではないかでしょうか。 (ペテロ第一 1:8 皆さんはキリストを見たことはありませんが、キリストを愛しています。今キリストを見てはいませんが、キリストに信仰を抱き、言葉にできないほどの素晴らしい喜びを感じて歓喜していますを読む。)

10. エホバはどんな犠牲を払ってくださいましたか。

10 エホバはどんな犠牲を払ってくださったでしょうか。エホバとイエスには、どんな親子よりも強い絆がありました。 (格 8:30 その時、私は優れた働き手として神のそばにいた。私は毎日、神が深い愛情を抱く存在で、いつも神の前で喜んだ) 考えてみてください。イエスがたくさんの試練に耐えるのを、エホバはどんな思いで見てていたのでしょうか。自分の息子がみんなから避けられ、虐待され、苦しむ様子を見るのは、エホバにとって本当につらいことだったに違いありません。

11. どんなことを考えると、イエスが殺された時のエホバの思いを知ることができますか。

11 親にとって、子供に先立たれることほど、つらくて悲しいことはありません。復活に対する強い信仰を持っていましたとしても、愛する子供を亡くした心の痛みが消えるわけではありません。その点を考えると、西暦33年の春に愛する子イエスが苦しんで死ぬを見た時、エホバがどんな思いでいたのかイメージすることができます。*「エホバに近づきなさい」の本の第23章8-9節(マタ26:14-16,46,47,56,59,67;27:38-44,46,ヨハ19:1,3:16)を参照。 (マタ 3:17 さらに天から声がした。「これは私の愛する子、私はこの子のことを喜んでいる」)

12. 記念式までの間、どんなことができますか。

12 記念式までの間、個人研究や家族の崇拜で贖いについて調べてみるのはどうですか。「エホバの証人のためのリサーチガイド」などを使って深く掘り下げることができます。*「調べてみよう」の囲みを参照。「クリスチヤンとしての生活と奉仕集会ワークブック」に載せられる予定表に沿って聖書を読みましょう。そして記念式当日には、特別な朝の崇拜のプログラムを忘れずに視聴

してください。このように、記念式に向けて心を整えておくなら、ほかの人を助けることもできます。（エズ 7:10 エズラは、エホバの律法を調べて実践するため、またその規定と公正さをイスラエルで教えるため、心を整えていた（*調べて実践すること、またその規定と公正さをイスラエルで教えることを、心に決めていた）

調べてみよう

贖いについて、次のような点を調べてみることができます。

- 賦いが必要になったのはどうしてか。エホバが、アダムとエバをただ許すことにしなかったのはどうしてか。
- 地球に来て人間を救うのに、イエスが一番ふさわしい方だったといえるのはどうしてか。
- 賦いのおかげで、今どんな素晴らしいことが実現しているか。
- 賦いのおかげで、将来どんな素晴らしいことが実現するか。

ほかの人を助ける

13. ほかの人にも記念式に来てもらうために、何ができますか。

13 記念式に来てもらうために、どんなことができますか。まずは招待しましょう。普段の伝道で出会う人に加えて、招待したい人をリストアップしてみるのはどうでしょうか。家族、職場や学校で会う人、知り合いなどを含めることができます。招待状が足りない場合は、電子版のリンクをシェアすることができます。どれほど多くの人が応じるかは誰にも分かりません。（伝 11:6 朝に種をまき、夕方になるまで手を休めてはならない。あなたは、どの種が育つか、これかそれか、あるいは両方のかを知らないからだ）

14. 個人的に知っている人を招待することが大切なのはどうしてですか。

14 個人的に知っている人から招待されると、行ってみようと思うかもしれません。ある姉妹は、エホバの証人ではない夫から、今年は一緒に記念式に行くと言われてとても驚きました。これまで姉妹が何度も誘っても、夫は一度も参加したことがなかったからです。今回はどうして行く気になったのでしょうか。「直接誘ってもらったんだ」と夫は言いました。知り合いの長老から招待されていたのです。夫はそれ以降、何年も記念式に出席しました。

15. 誰かを記念式に招待する時には、どんなことを意識できますか。

15 エホバの証人の集まりに出席したことがない人は特に、知りたいことがいろいろあるかもしれません。それで、どんなことを聞かれるかもしれないか予想しておいて、答えられるようにしておくのは良いことです。（コロ 4:6 塩で味付けされた快い言葉を語るように心掛けましょう。そうすれば、誰に対してもどのように答えるべきかが分かります）こんなふうに思う人がいるかもしれません。「どんなイベントなんだろうか」。「どれくらいの時間で終わるんだろうか」。「どんな服を着ていったらしいんだろうか」。「入場料はかかるんだろうか」。「寄付は集められるんだろうか」。それで、誰かを記念式に招待する時には、「何か聞いておきたいことがありますか」と尋ね、相手の質問に答えることができます。集まりがどのように行われているかを知ってもらうために、「イ

エスの死を思い起こしましょう」や「王国会館においでください」の動画を見せることもできます。「いつまでも幸せに暮らせます」のレッスン28(キリストの死の記念式に出席することが大切なのはどうして?)にも、話し合うのに役立つ点がたくさん載せられています。

16. 記念式に出席した人はどんなことを知りたいと思うかもしれませんか。

16 記念式の後も、いろんな疑問を持つ人がいるかもしれません。「一部の人しか（あるいは誰も）パンを食べたり、ぶどう酒を飲んだりしないのはどうしてだろうか」。「記念式はどれくらいの頻度で行われるんだろうか」。「エホバの証人の集会はいつもこんな感じで行われているんだろうか」。こうした点の多くは記念式の話の中で説明されますが、もっと詳しく知りたいと思う人もいることでしょう。jw.org の「エホバの証人が主の晚餐を守り行なう方法はほかの教会と違いますが、なぜですか」という記事を活用できます。私たちは「正しい態度を持つ人」をぜひ助けたいと思います。それで、記念式が行われている間やその前後に、できる限りのことをしてサポートしましょう。（使徒 13:48 異国の人々はこれを聞いて喜び、エホバの言葉を賛美するようになった。そして、永遠の命を得るための正しい態度を持つ人は皆、信者となった）

しばらくお休みしている人をサポートする

17. 長老たちは、しばらくお休みしている兄弟姉妹をどのようにサポートできますか。（エゼキエル 34:12, 16）

17 記念式の時期に、長老たちは集会や奉仕をしばらくお休みしている兄弟姉妹をどのようにサポートできるでしょうか。兄弟姉妹のことを心から気に掛けるようにしましょう。（エゼキエル 34:12 散らされた羊を見つけて養っている羊飼いのように、私は自分の羊を世話する。雲と濃い暗闇の日に散らされた全ての場所から、羊を救い出す、16 いなくなつた羊を捜し、はぐれた羊を連れ戻し、けがをした羊に包帯をし、弱い羊を力づける。しかし、肥えた羊と強い羊を減ぼし尽くす。私は彼らに処罰を食らわせるを読む。）記念式までにできるだけ多くの人と連絡を取るようにしましょう。兄弟姉妹のことを愛していること、助けになるためにできることは何でもしたいと思っていることを伝えてください。そして、記念式に招待しましょう。もし出席したなら、温かく迎えてください。記念式の後も、こうした兄弟姉妹と連絡を取り続け、エホバのもとに戻ってこられるよう、できる限りのサポートをしましょう。（ペテー 2:25 皆さんはさまよう羊のようでしたが、皆さんの命を守る牧者であり監督である方のもとに帰つてきました）

18. 私たち一人一人にはどんなことができますか。（ローマ 12:10）

18 会衆の一人一人にもできることがあるでしょうか。久しぶりに記念式に来た人たちに愛情深く、親切に、敬意を込めて接することができます。（ローマ 12:10 兄弟愛を抱いて、優しい愛情を示し合いましょう。自分の方から進んで人を敬ってくださいを読む。）こうした兄弟姉妹にとって、エホバの証人の集まりに再び出席するには勇気が必要だったことでしょう。あまり歓迎されなかつたらどうしようと不安に思っていたかもしれません。* 「会衆の人たちはどのように迎えたか」の囲みと写真を参照。しばらくお休みしていた兄弟が王国会館に入るのをためらっている。勇気を出して中に入ると、温かく歓迎されている。そして、仲間との会話を楽しんでいる。それで、気まずくさせるような質問をしたり、傷つくようなことを言ったりしないようにしましょう。（テサ一 5:11 それで、すでにしている通り、これからも励まし(*慰め)合い、力づけ合ってください）こうした兄弟姉妹は私たちの大切な仲間です。また一緒にエホバを崇拜できることを本当にうれしく思います。（詩 119:176 私は迷い出た羊のようにさまよってい

る。私を捜してください。私はあなたのおきてを忘れていない。使徒 20:35私は、このように真面目に働いて、弱い人たちを援助しなければならないこと、また、主イエス自身が述べた『受けるより与える方が幸福である』という言葉を覚えておかなければならぬことを、あらゆる点で皆さんに示しました)



会衆の人たちはどのように迎えたか

「王国会館に戻るのをきまり悪く感じました。親しかった人たちほどどんなふうに接してくれるだろうか、と思いました。30年前からいたある年配の姉妹が、『お帰りなさい！』と言ってくれたので、胸にじいんときました。“わが家”に帰ってきたんです」。ハビエル

「王国会館に行って、誰にも気付かれないように一番後ろの列に座りました。ところが、多くの人は私を見て、子供の頃集会に来ていた子だと気付きました。そして、私を歓迎し、愛情を込めて抱き締めてくれたので、何とも言えない安心感に包まれました。まるで家に帰ってきたかのようでした」。マルニ

19. イエスの死を思い起こすことが大切なのはどうしてですか。

19 この記事では、記念式を毎年行うことの大切さについてよく学べました。記念式に出席することは、自分にとってもほかの人にとってもためになります。（イザ 48:17, 18 あなたを救う（d*買い戻す）方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！ そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる）エホバやイエスへの愛を深めることができます。エホバとイエスがしてくださったことにどれほど感謝しているかを表すこともできます。仲間の兄弟姉妹との絆も強まります。また、贖いのおかげで素晴らしい将来が実現するということをほかの人に知らせる機会にもなります。では、1年で一番大切な日である記念式に向けて、今年もできる限りの準備をしましょう。

2024年のように、日曜日に記念式が行われる場合、週末の集会はありません。そのため、来週の研究記事はありません。

どんなことができますか

1. 記念式に向けて心を整えるために

- ・S05 イエス・キリストの犠牲の価値についてじっくり考えることは重要。私たちは、自分の方では罪や死から自由になれなかつたが、エホバとイエスは大きな犠牲を払い、人間が罪と死から自由になれる負債を支払ってくださつた。
- ・S06 貢いとは、何かを取り戻すために支払われる代価。イエスはアダムが失ったものを取り戻すために、完全な人間としての命を犠牲として捧げ、代価を支払つて、貢いとなつてくださつた
- ・S07 イエスは地球にいる間にたくさん試練を経験しましたが、どんな時もエホバに従順だつた。自分は完全だつたが、完全ではない両親に進んで従つた。完全な人間として貢いの犠牲を捧げるのを阻止しようとした悪魔サタンからのさまざまな誘惑に立ち向かつた。

2. ほかの人を助けるために

- ・S13 記念式に来てもらうために、まずは招待する。普段の伝道で出会う人に加えて、家族、職場や学校で会う人、知り合いなど招待したい人をリストアップする。
- ・S14 個人的に知っている人から招待されると、行ってみようと思うかもしれない。
- ・S15 エホバの証人の集まりに出席したことがない人は特に、知りたいことがいろいろあるかもしれない。それで、どんなことを聞かれるかもしれないか予想して答えられるようにしておく。
- ・S16 記念式の後もいろんな疑問を持つ人がいるかもしれない人がいるかもしれない。記念式が行われている間やその前後も含めて、できる限りのことをして正しい態度を持つ人をサポート。

3. しばらくお休みしている人たちをサポートするために

- ・S17 記念式の時期に、長老たちは集会や奉仕をしばらくお休みしている兄弟姉妹のことを心から気に掛けるようにする。記念式までにできるだけ多くの人と連絡を取り、兄弟姉妹のことを愛していること、助けになるためにできることは何でもしたいと思っていることを伝え、記念式に招待する。もし出席したなら、温かく歓迎し記念式の後も、こうした兄弟姉妹と連絡を取り続け、エホバのもとに戻つてこられるよう、できる限りサポートする。
- ・S18 会衆の一人一人も、久しぶりに記念式に来た人たちに愛情深く、親切に、敬意を込めて接することができる。気まずくさせるような質問をしたり、傷つくようなことを言つたりしないように気を付ける。

18番の歌 貢いに感謝する

△ この記事に出てくる資料や動画は jw.org の検索機能を使って探すこともできます。

△ 「ものの塔」2021年4月号の「[読者からの質問](#)」を参照。

△ 「[エホバに近づきなさい](#)」の本の第23章8-9節を参照。

△ 「[調べてみよう](#)」の囲みを参照。

△ 「[会衆の人たちはどのように迎えたか](#)」の囲みと写真を参照。しばらくお休みしていた兄弟が王国会館に入るのをためらつてゐる。勇気を出して中に入ると、温かく歓迎されている。そして、仲間との会話を楽しんでいる。

△ 写真や挿絵: エホバに仕える人たちが記念式を行つてゐる。別の場所では式のために準備をついている。